

スポーツ史 学会だより

第133号

2019年6月30日発行

スポーツ史学会事務局

〒174-0053 東京都板橋区清水町92-1

東洋大学総合スポーツセンター

谷釜研究室内

TEL : 03-6454-3182

E-mail : tanigama@toyo.jp

<http://sportshistory.sakura.ne.jp/>

I. 事務局報告

1. 会況報告(2019年5月30日現在)

- 1) 会員総数217名、1機関
(正会員198名、学生会員19名、賛助会員1機関)
- 2) 会費納入状況

2019年度納入者数	83名
2018年度納入者数	198名
2017年度納入者数	203名
2016年度納入者数	209名
- 3) 今年度会費収入総額 633,000円

2. 会費納入のお願い

今年度(正会員8,000円、学生会員5,000円、賛助会員一口10,000円以上)の納入はお済みでしょうか。未納の会員は下記まで納付をお願いいたします。

会則第9条により、3年を越えて会費を未納の場合には、会員資格を喪失することになります。また、2年間会費未納の場合には一部会員サービスを停止させていただきます。なお、会費納入状況等についての質問がある場合は、事務局までお問い合わせください。

郵便振替口座 : 00940-7-282457

加入者名 : スポーツ史学会

3. 会議の開催

以下の会議が開催されました。

【理事会】

第147回 2019年6月9日

中央大学 多摩キャンパス 5号館 2階 04A教室

【編集委員会】

第1回 6月9日 中央大学 多摩キャンパス

4. スポーツ史学会第33回大会について

「第33回大会」の開催予定は以下の通りです。

- ・期日:2019年12月7日(土)、8日(日)
- ・会場:中央大学 多摩キャンパス

5. 日本学術会議刊行物

月刊『学術の動向』2019年4～6月号が事務局に届いております。目次のコピーを同封いたしますので、関心をお持ちの方はご連絡ください。なお、特集記事は<http://www.scj.go.jp>からも閲覧可能です。

6. スポーツ史学会30周年記念誌の献本

2017年度に、スポーツ史学会30周年記念誌『スポーツ史研究の未来』が完成し、会員の皆さんにお届けしました。

なお、事務局に若干の余部がございます。所属先の図書館や図書館以外でも公的機関等に納本して下さるといふ会員に限り、お分けいたしますので、事務局までご連絡ください。申込受付先着順といたします。

納本先への送料は事務局が負担します。

7. 『スポーツ史研究』第32号に関するお詫びと訂正

この度、『スポーツ史研究』第32号の表紙の目次に

において、題目に誤りがございました。下記のとおり訂正(副題の削除)させていただきます。

【誤】日本野球におけるアンダースローの運動技術史
—戦時下のスポーツの一側面について—

【正】日本野球におけるアンダースローの運動技術史

また、15ページおよび31ページにおいて、原稿の種類(区分)の記載漏れがありましたので、タイトルの右上部に下記の語を加えさせていただきます。

———
原 著
———

これらの誤りにつきまして、修正用のシールを作成し、会員の皆様に送付いたしました。お手元に届いていると思います。お手数ですが、お手元の『スポーツ史研究』第32号の該当部分に貼付していただきますようお願い申し上げます。

この度は、機関誌印刷においてミスがあり、著者の先生、会員の皆様、関係各位にご迷惑をおかけしました。深くお詫び申し上げます。

『スポーツ史研究』第32号 編集委員長 中房敏朗
前スポーツ史学会事務局 松浪 稔

II. 理事会報告

1. 第147回理事会

第147回理事会が次の通り開催されました。

期 日： 6月9日(日) 13時00分～16時00分

場 所： 中央大学 多摩キャンパス

5号館 2階 04A教室

出席者：三井悦子(会長)、松本芳明(理事長)、市場俊之、井上邦子、瀧元誠樹、福井 元、矢野裕介、綿貫慶徳、谷釜尋徳(事務局)、松浪 稔(前事務局)

欠席者：なし

議長：松本芳明

1. 議事録確認

1) 第146回理事会議事録案の確認

2. メール審議

- 1) 「ひすぼ」第104号特集テーマおよびテーマ設定趣旨について
- 2) 会員種別の変更について
- 3) 会員の退会について
- 4) 「スポーツ史研究」第32号への対応について

3. 報告事項

- 1) 会況報告
- 2) 会員の所属変更
- 3) 2018年度末での会員資格喪失者
- 4) 『スポーツ史研究』第33号の編集進捗状況について
- 5) 「ひすぼ」第103号の編集進捗状況について
- 6) ISHPES 2020札幌大会について
- 7) 「スポーツ史研究」第32号への対応について
- 8) 日本スポーツ体育健康科学学術連合2019年度総会(6/8)の出席について
- 9) その他

4. 審議事項

- 1) 学会賞(奨励賞)について
- 2) スポーツ史学会第33回大会について
- 3) 次期学会大会(第34回大会)当番校について
- 4) 年間計画について
- 5) その他

5. その他

III. 編集委員会報告

1. 『スポーツ史研究』への投稿

現在、2020年3月末発行予定の第33号の編集作業をすすめています。

また、『スポーツ史研究』への投稿は随時受け付けております。投稿規程ならびに執筆要領は『スポーツ史研究』の見開き及び学会ホームページに掲載されていますので、投稿前に必ずご確認下さい。

なお、投稿先は、次の通りです。

〒630-8528

奈良県奈良市高畑町

奈良教育大学保健体育講座 井上研究室

スポーツ史研究編集委員会 宛

IV. 会報「ひすぽ」報告

1. 「ひすぽ」特集テーマの募集について

現在、第105号以降の特集テーマを募集しておりますので、事務局までお寄せください。皆様からの積極的なご提案をお待ちしております。

V. 会員の動向

1. 入会・退会

<入会>

次の方の入会が承認されました。(敬称略)

正会員

中谷 康司 (中央大学経済学部) (2019年6月6日付)

伊藤 麻紀子 (朝霞市博物館) (2019年6月10日付)

学生会員

麦 媛 (国士舘大学大学院スポーツシステム研究科博士課程) (2019年6月14日付)

<退会>

次の方の退会が承認されました。(敬称略)

林 立躍 (2019年3月31日付)

水谷 豊 (2019年3月31日付)

<会員資格喪失>

2018年度末(2019年3月31日)で、以下の方が会員資格を喪失しました。(敬称略)

佐久間 康

2. 所属変更について

以下の会員から所属変更の連絡がありました。

(敬称略 () 内は新所属先)

尾川 翔大 (日本体育大学スポーツ危機管理研究所)

崎田 嘉寛 (北海道大学)

坂中 勇亮 (大阪成蹊大学)

掛水 通子 (女子体育史研究所)

藤坂 由美子 (東京女子体育大学)

沼倉 学 (宮城教育大学)

所属、連絡先住所等に変更があった場合には、

必ず事務局までご一報ください。その際、ぜひともメールアドレスをあわせてお知らせ下さい。所属変更、連絡先の変更がないまま住所不明になる会員もいらっしゃいます。

3. 会員資格の喪失と退会について

スポーツ史学会会則第9条に則り、3年間会費未納の会員の方は、会員資格を喪失いたします。

現在、11名の方が、2017年度以降の年会費未納となっております。2019年度末で会員資格を喪失することになりますので、該当の会員は至急会費の納入をお願いします。

また、会員が本学会を退会する際には、会員であった期間の会費を納入していただいたからの退会承認となります。

大学院を修了し、研究活動を継続せず、退会する場合は、退会手続(事務局へご連絡ください)を忘れずにしてください。退会手続が遅れると、次年度の会費が発生します。

学生会員の推薦者となった会員の先生も、この点にご留意いただき、ご指導をお願いします。特に留学生の帰国の際に、会員継続の意思がない場合は退会手続を忘れずにお願いします。